要請番号(JL05125B30)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
バングラデ シュ	G121 バレーボール	20~45 歳のみ	個別	新規	2年	• 2026/1 • 2026/2 • 2026/3 • 2027/1







【配属機関概要】

1)受入省庁名(日本語)

2) 配属機関名(日本語)

青年スポーツ省

国立スポーツ学院

3)任地(ダッカ県サバール郡) JICA事務所の所在地(ダッカ県北ダッカ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車で約2.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は1986年に設立されたバングラデシュ国内の優秀なスポーツ人材を育成する機関。ダッカ本校のほか、チッタゴンやシレット、クルナ等にも拠点を構え、主に8~20歳の生徒に対し、様々な競技種目における専門的な指導を提供している。また、小・中・高に相当する一般教育も展開されている。ダッカには約1,000名の生徒が在籍中。全寮制であり、全生徒が敷地内にある寮で生活している。これまで、28名のJICA海外協力隊が派遣されているほか、外国人コーチも積極的に採用しており、2025年8月現在、アイルランド、韓国人コーチが在籍中。 国立スポーツ学院HP

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先は国内有数のスポーツ選手育成機関であり、バレーボールに関する指導も行われている。現在、ダッカ本校にはバレーボールを選択する約40名の男子生徒が在籍しており、日々練習に励んでいる。他方、バングラデシュ国内におけるバレーボールは未だ発展途上の段階にあり、コーチ陣の知識・技術レベルも高いとは言えない。また、配属先は他種 目において多数の外国人コーチを採用しているものの、これまでバレーボールコースでは外国人コーチを招聘した実績がなく、トレーニングはバングラデシュ人コーチのみによって実施されている。そのため、配属先は外国人コーチの受け入れを通じて、トレーニングを活性化させ、国際基準の選手育成を促進したいと考えており、協力隊の派遣要請がな された。

2)予定されている活動内容(以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しな がら活動を進めます)

- 配属先同僚と協力し、以下のいずれかの活動を実施。
 1. バレーボールコースに所属する生徒に対する技術指導およびフィジカルトレーニングに関する助言。
 2. 生徒や同僚に対する最新の練習方法や戦術の紹介および導入支援。
- 3. スポーツ指導を通じた礼儀やマナーの定着、人間4. トレーニングマニュアルの開発および定着促進。5. 対外試合等の企画・立案や実施。 人間性の向上支援。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

バレーボールコート1面(屋内)、各種練習用具

4) 配属先同僚及び活動対象者

バレーボールコーチ3名 男性 指導経験 2~30年(全員がコーチングライセンス・資格保有) バレーボールコース選択生徒 男性 約40名 14~19歳

5)活動使用言語

6) 生活使用言語

7) 選考指定言語

ベンガル語

ベンガル語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]: () 備考:

[性別]: (男性) 備考:配属先からの要望のため [経験]: (競技経験) 5年以上 備考:専門的な指導を行っため

(指導経験)2年以上 備考:同僚への指導を行

うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]:(熱帯モンスーン気候) 気温:(15~40℃位) [電気]:(安定)

[通信]: (インターネット可 電話可) [水道]: (安定)

【特記事項】

- ・JSPO公認コーチ1(旧指導員)があると尚良い。
- ・住居は配属先敷地内にある寮となる予定。

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.